



教育センター・育成センター所報

GALLILEI

とらえを生き生きと描いてみます)

図2 「〇〇観」を大事にしたワクワクのある授業づくり
～どの子にもしっかりと学びを成立させるために～

①教科書等で
○単元のねらい
○教える内容を
確認
・赤刷り
・指導書
・学習指導要領
・Web、学テ問

2 3つの観を描き
① 自分だけの
教材観を描く
② 描いた子ども
観と照らし...
③ その上で
指導観を練る

④ 単元の構想をシナリオ感覚に描く
⑤ そして単元計画に落とし込み

A活動+Bまで
1 まずは、こんな活動
で、こんな姿になり...
2 次は、こんな活動を
すればこんな姿になって
3 "

6 本時を漢字割る
★わらい=A活動+Bまで
(できるだけ具体的に)

活動
★わらいBの姿

2つの★が

CONTENTS

- 今月の巻頭言..... P 1
 - ★教科書選定
 - 柏崎市教育委員会 教育委員長 中村 伸
- 教育センターだより
 - ★アクセス（教育研究班）..... P 2
 - ★プロジェクト K（科学技術教育センター）..... P 6
 - ★心の窓（教育相談班）..... P 10
- 青少年育成センター通信..... P 11
- 11月の行事予定表..... P 13
- 所員随想「つれづれ」..... P 13
 - ★月が食べられるなんてそれは違う 副所長 山田 智
- 教育センター上半期の参加・利用状況..... P 14

平成26年10月号

柏崎市立教育センター 柏崎市青少年育成センター

教科書選定



柏崎市教育委員会
教育委員長 中村 伸

教育センターが学園ゾーンへ移転し2年半が経過いたしました。時宜を得た選択であったと思いますし、柏崎市には新潟産業大学と新潟工科大学の二つの大学を擁する学園ゾーンに位置しますので、今後の継続的発展に大いに期待するものであります。

教育センターの一角に教科書展示室があり、現在の小学校、中学校および高等学校における新改定および使用教科書、過去に遡っての教科書を閲覧することができます。本年は小学校の改定教科書選定の年度、展示室において改定教科書の展示が行われました。また展示会は図書館においても同時開催され、大勢の皆様から閲覧いただいたところであります。

未来を託す児童・生徒のために「良い教科書を選定すること」は大きな責任が伴うことと常々考えております。私は、学ぶということは自学自習が前提と考えておりますが、そのためには良い教科書は欠かせません。もちろん、それをサポートする良い指導者の存在と学びの機会の提供も欠かせませんが。

前回の選定時には、「教科書の内容量が私たちの世代の頃と比して大幅に削減されている」と感じましたが、この点は変化、増加の方向に向かっています。これは、限られた授業日数の中で児童・生徒に多くのことを理解させることでもあります。指導者にもより一層の努力が必要となります。

新指導要領により一部の科目では編集の方向性に変化がみられました。また、技術家庭分野では、家事を含む仕事の分野において男女共同参画が意識された内容になっており、保健分野では薬物の弊害に対する記述もあり、それぞれ、時代の変化を感ずるとともに重要な視点であると感じました。

知育・徳育・体育の実践が義務教育課程の目的ではありますが、社会にでるとやはり知識の豊富さは重要であります。知育はしっかりおさえておきたいところです。改定教科書による「確かな学力の向上」に期待したいところです。このためのサポート施設としての一翼を担うのが教育センターであると思います。県内有数の良い環境、施設をフル活用いただき未来を託す子供たちを逞しく育てていただくことを期待いたします。

■研修講座より

『信頼』がなければ、教育効果はあがらない。

◆9/24（水）教師のためのマナー講座 講師：学校教育課 吉田 淳一 指導兼管理主事

この講座は、学校教育課吉田淳一指導兼管理主事が講師となり開催しました。「子どもを取り巻く状況や社会からの学校に対する激しい目がある中、『信頼』がなければ教育効果はあがらない」「一人一人の教職員が魅力的で信頼されることが必要」という基本理念のもと、講座は進みました。

そこでは、「情熱をもって」「力量を高め」「総合的な人間力を養う」という、教師としてもっとも大事な姿勢を説きながら、身だしなみや電話の対応、公文書の作成等の基本的な事柄にも触れる内容となりました。

参加された先生方の感想には「教師として大事な構えを学びました」「『知らない』ことが相手に誤解を与えてしまうことがわかりました」等、普段の仕事への姿勢を改めて考え直すきっかけになる講座だったことがうかがえる内容が多く記載されていました。



「信頼がなければ教育は成り立たない」と語る講師の吉田淳一指導兼管理主事

子どもを育てるといふ目的のもと、みんなで力を合わせる。このロマンあふれる活動の推進を

◆9/26（金）学校支援地域本部事業 相談・学習会

この講座は、アルフォーレ・マルチホールを会場に、市内小中学校区の地域コーディネーター（以下 C.D と記します）、ボランティア、学校担当者等が参加し開催しました。生涯学習課より予算の使い方についての説明もあり、各地域の実態に合った取組の推進を目指しました。柏崎小学校の山之内知行先生や横関健一 C.D から、

- ① 目的は、「一緒に子どもを育てる」というロマンあふれるものであること、社会状況として逆戻りしないものであること。
- ② 一気に進めた方が効果的なことがあること。（私の授業は地域の方々なしでは成り立たない」と語る先生の紹介）
- ③ 「A：地域は学校からの要請がなくても子どもの実態をみて積極的に進める」「B：学校からの要請を受けて進める」「C：学校、家庭、地域で一緒に取り組む」等で整理すると活動がしやすい。
- ④ 地域の人が学校の中に当たり前のように入る空間や場面を作る努力をする。

等の事例紹介を行っていただきました。

後半は、地域 C.D である小栗俊郎さんらのアドバイスいただきながらグループワークを行いました。そこでは別のグループの「困り感」の解決に向けて、別のグループのメンバーが解決のヒントを出し合う形式で学びを深める試みを行いました。

最後に比角地区 C.D 須田貴子さんから「今まで取り組んできた活動をうまく生かしながら、地域みんなで子どもを育てていく仕組みづくりが大事」等のアドバイスをいただきました。この事業は未来の地域を担う子どもたちを学校だけでなく地域で育てる、というこのロマンあふれる活動です。多忙感の中、追われながら取り組むのではなく、知恵を出し合い工夫して創造性あふれる活動にしていきたいと考えます。



別グループの困り感解決へのヒントを考える場

自殺に至るまでにはプロセスがある。だからこそ、変化に気づく機会もある。

◆10/2（木）ゲートキーパー養成講座 講師：柏崎市福祉保健部元気支援課 白井 名美 様
柏崎地域振興局健康福祉部 富山 順子 様

この講座は、市福祉保健部元気支援課、白井名美様と、同地域振興局健康福祉部、富山順子様をお招きして行いました。冒頭の講義では、自殺者の数やその要因を具体的に触れていただき、問題に正対するべき覚悟を感じました。そこで白井さんは「自殺に至るまでにはいくつかのプロセスがあり、いきなり死を選ぶことは少ないということ。だからこそ、そのプロセスの中で周囲が変化に気づき、温かい適切な対応をすることが大切」と力説されていました。

後半は想定事案から、状況分析、整理するグループワークでした。想定であっても、プロセスを追い、本人からのサインや可能な対応を出し分類していく活動は、実の場での対応力につながると実感しました。

参加された先生方の感想には「本人のことを気に留める優しい気持ちや、わずかな変化に気付くことにつながるということがわかった」等、同僚の自殺予防に向けて有効な講座だったことがうかがえる記載が多くありました。



グループの想定事案を分析する様子

あえて、この難しい資料と子どもを対峙させ、読み解く力を身に付けさせたい！

◆10/3（金）授業づくりゼミ① 授業者：比角小学校 牧 匡尚 主幹教諭

この講座は、比角小学校を会場に同校、牧匡尚先生から5年生の社会「これからの食料生産」を公開していただき、その後、ねらいの達成度を詳細に検証する協議会を行いました。授業ではまず、牧先生が実際に購入してきた様々な食糧品を取り出しながら、「輸入品か国産品か」について着目させる導入でした。子どもの興味関心が高まったところで教科書から「日本の食料は輸入に頼ってるようだ」という印象を一旦もたせます。

ところが、その後、「品目ごとに輸入か国産かがわかり、しかもその用途まで記載されている詳細な資料」を拡大図で読み解いた結果、「日本の食料は輸入に頼っている」という考えは「必ずしも正しくない」という疑問に変わっていき、今後、もっと詳しく調べてみたい！と思うような展開になりました。この授業は単元の導入の授業でしたが、一つの単元を貫くような問題意識が生じる時間となり、今後の追究に向かうエネルギーを子どもの中に感じる授業となりました。



難解な資料をわかりやすく提示する牧先生

協議会（表紙写真右下）では、一人一人の子どものねらいの達成度を教室であった事実に照らし合わせて2人組で検証し、その要因について「導入」「展開」「終末」場面で話し合いました。教師二人で子ども4～6人の学びを検証し、結果として学級の子ども全員の学びを振り返りました。協議会の課題としては、グループごとの検証結果をいかに参加者全員で共有、収束（まとめ）に向かわせるかという点が残りました。

参加された先生方の感想には「事前に指導案について牧先生と意見交換できたことで、工夫点がよくわかった。また、自分なりの代案も浮かんできた」「先生の『この価値ある資料と子どもを対峙させたい』という教師の思いが背景にあるということが大事だとわかった」等、校内研修のあり方や教師の単元観、教材観の重視にかかわる内容が多く記載されていました。

どんな子どもを育てたいか、という理想をもつことが、子どもとの関係を強くする

◆10/6（月）子どもとの関係づくりを考える先生のための学級づくり講座
講師：上越教育大学准教授 赤坂 真二 様

この講座は、上越教育大学准教授 赤坂真二先生を講師にお招きして行いました。赤坂先生は、学級づくりには子どもとの一対一の関係づくりが大事であると語った上で「一人一人のことをよく知ろうとすること」「その子を好きになり、プラスの感情を伝えること」等、教師としての原点を振り返るような内容に触れていただきました。そして「この年度末に自分の教えた子ども達をどんな姿にしたいのかという理想をもつことが大事」とも語りました。



講師の赤坂真二先生

参加された先生方の感想には「あなたのもとで教育を受けると、どんな子どもが育つのか？と問われドキッとしました。」「子どもが好きだからこそ教師を目指した私。もう一度、子どもにしっかり向き合うことの大切さを研修させていただきました。」「理想、戦略、安心感、哲学をもって子どもにかかわりたいと思います。」等、学級経営の基本を今一度見直す機会になるような講座だったことがわかる内容が多く記載されていました。

日常活動でキャリア教育を！

◆10/7（火）すぐにできるキャリア教育 講師：柏崎翔洋中等教育学校 教頭 田中 哲也 先生

この講座は、柏崎翔洋中等教育学校 田中 哲也教頭先生を講師にお招きして行いました。田中先生はキャリア教育とは「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促す教育」と語り、続いて、「その基盤の能力や態度を、子どもの実態を把握し発達段階に応じて全ての教育活動で実践します」と指導されました。



講師の田中哲也先生

さらに、教科、道徳、特別活動、総合学習などのみならず、部活動、清掃、給食、短学活等、ありとあらゆる活動で、今一度、その目的と目標を見直し、内容と方法を工夫することの必要性を具体的な事例とともに説かれました。

参加された先生方の感想には「普段の活動の中でもキャリア教育の視点を意識していこうと思いました」「教師の意識ひとつで、同じ活動でもさらに意義を持たせられることがよく分かりました」等、キャリア教育の本来の取り組み方をわかりやすく指導していただいた講座だったことがうかがえる内容が多く記載されていました。

学びすっきりプロジェクト ～研究主任会&カリキュラム研修会～ 授業づくりに不可欠な単元観。その構築のためにカリキュラムの中味がわかること。

9/25（木）と10/17（金）にそれぞれ研究主任会（表紙写真左上）とカリキュラム研修会を行いました。前者では「この単元で一体何を子どもに学ばせたいのか」という自分なりの捉えをしっかりとつことを強調しました。その一助になるのがカリキュラムです。そこでは関連する前後の単元での具体的な学習内容の把握を図ります。単に「関連がある」「スパイラルにつながっている」程度の把握では不十分です。「前学年ではこんな活動でこんな内容を学んできている。だから、ここではこれだけはしっかり押さえ、次の単元のあの内容とこんな風につなげたい」という、具体的な内容を把握するようにします。こうすることで、当該単元で学ばせたいことも明確になり、単元観が明確な、迫力のある授業をワクワク感をもって創ることができます。

■ 柏崎教育情報支援システム/コンテンツサーバ情報

資料を登録しました

◆ 柏崎教育情報支援システム

実施日	講座名／資料名
9/26	Word 活用5 Word2010 活用 5 .pdf (第 3 版) Word 活用 5 演習用例題.docx

◆ コンテンツサーバ(教育委員会資料)

登録日	資料名
10/17	ALT News Letter 第 33 号

■ 情報関連講習会のご案内

11 月に実施される講習会

◆ H26.11.26(水) 疑問やトラブルに答える フリーQ&A その6

ICT 活用に関すること、パソコンのトラブルや疑問など、自由に相談できる機会を設けました。他の講座のような事前申し込みは不要ですが、前日までにメールや電話で相談内容をご連絡ください。

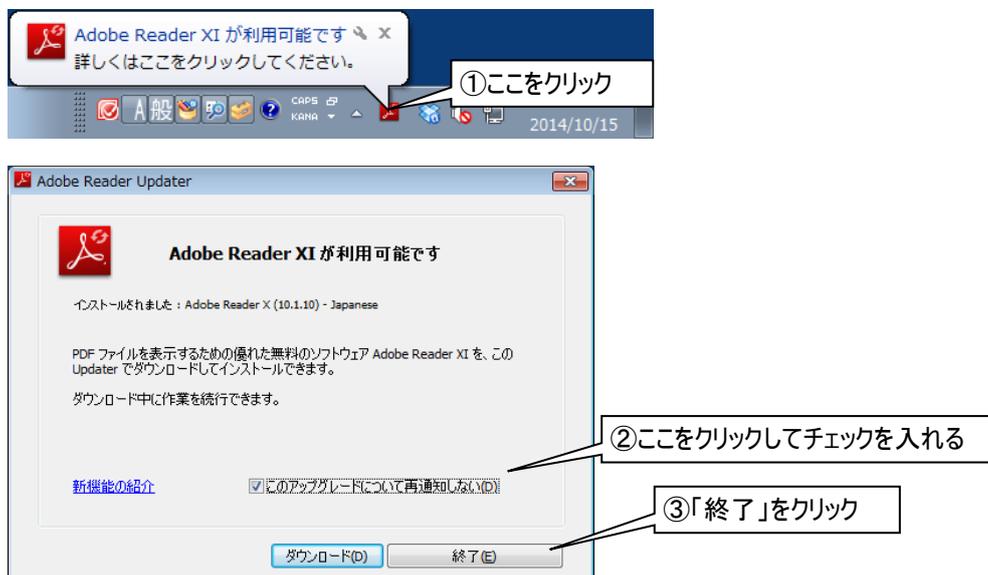
■ セキュリティ情報

セキュリティホール情報

マイクロソフトより、10 月 15 日付で 10 月の定期更新として、Windows などの重要な更新が公開されました。最大深刻度「緊急」が 3 件、「重要」が 5 件です。まだ Update が済んでいないようでしたら、至急 Windows Update などを実施していただくようお願いします。

Adobe Reader XI をインストールしないでしてください

画面右下の通知領域で Adobe Reader XI が利用可能な旨のメッセージが表示されることがありますが、XI をインストールしてしまうと、スクールオフィスで PDF の表示がうまくいかない場合がありますので、インストールを実行しないでください(以下の手順で非表示にできます)。校務 PC は導入時にバージョン X がインストールされた状態になっており、10.x.x へのアップデートは問題ありません。



【研修会・事業の様子】

発表にも工夫が見られ、自信をもって研究発表！

◇ 10月8日（水） 第49回柏崎刈羽地区児童生徒科学研究発表会 13:00～17:00

今年度の科学研究発表会には、44点の研究発表（参加校16校）がありました。当日は発表の児童生徒、応援の保護者等220名が集まり、センターが賑わいました。

発表会では堂々と発表する姿、質問し合って友達の研究の良さを感じ合う姿を随所で見ることができました。これまでの児童生徒のがんばりとともに、保護者の方や、先生方の丁寧な指導に感謝いたします。

身の回りのほんのちょっとした「？」から研究は始まります。児童生徒に科学研究を勧める働きかけ、アドバイスをぜひこれからも継続してってください。また、各学校を専任所員が回って「科学研究のすすめ」を行う要請は来年度もお受けしたいと思っておりますので、ご希望があれば連絡をください。そしてできるだけ多くの児童生徒に発表会を体験してほしいと願っています。参加した児童生徒にとってとてもいい機会だと感じられる行事だからです。いろんな研究の仕方が分かること、実験の組み立て方が分かること、人前での発表力がつくことなどなどです。



表やパワーポイントを使って堂々と発表した児童生徒。質問にもしっかり答えました。



当日センターに来られた方にインタビューしてみました。

☆発表した児童生徒のコメント



「3回目の発表会です。自分で調べたいことに向かって実験方法を組み立てられるようになったのが3年間の自分の成長です。また、データを正確にとるように繰り返し実験をすることもこの発表会で学びました。」
「科学研究を数年続けたことで、身の回りのものに興味が向くようになり、これってどうなのって考えるようになりました。」

「すごく緊張したけれど、うまくできてほっとしました。科学研究はいろいろな実験を試せるし、発表会ではいろんな実験を他の人から聞くことができるので、学校で科学研究をしたことのない友達にも挑戦してほしいと思いました。」

☆教職員からのコメント



「子どもたちの素晴らしい発想と純粋な思いにふれられました。」
「科学研究発表会は子どもたちの活躍できる場としてとてもいい機会だと思いました。いろいろな発表方法も勉強になりました。実演があるのはいいですね。児童生徒も緊張するとは思いますが、刺激をもらい、いい経験ができる活動だと思います。」
「教育センターが満員になるほどの盛況ぶり、子どもたちの生き生きとした目が印象的でした。」

☆保護者のコメント



「発表する子どもたちの発表の仕方や研究のレベルが上がってきているように感じました。」
 「もっと多くの保護者、子どもたちに聞いてもらいたいと思いました。自分の子どもの発表だけでなく、他の発表も興味深かったです。こんないい機会なら、昨年度も来てみればよかったと思いました。」

今年度の審査結果を報告します。優秀賞を受賞した研究は新潟県のいきいきわくわく科学賞へ出品する予定です。

第49回柏崎刈羽地区児童生徒科学研究発表会 審査結果

小学校中学年Aの部

No.	学校名	年	氏名	題目	審査結果
1	鯖石小学校	4	木本 真白	氷チャレンジ	優秀賞
2	大洲小学校	3	須藤 心菜	かぶと虫のかんさつ	奨励賞
3	荒浜小学校	4	菊池 天斗	空気ほうの実験	優秀賞
4	鯖石小学校	3	阿部 大心	うく物しずむ物	奨励賞
5	剣野小学校	4	小林 恵	THE ROCKET～地球一周飛ばすぞ2014～	優秀賞
6	比角小学校	4	安齋 僚真	勝手に動く不思議な色水	奨励賞
7	田尻小学校	4	多々 美咲	水ヨーヨーはどのように工夫したらうまくつれるのか～つり紙に焦点を当てて考える～	奨励賞
8	比角小学校	3	小峯 彩	ダンゴムシのかんさつ	奨励賞

小学校中学年Bの部

No.	学校名	年	氏名	題目	審査結果
1	比角小学校	4	伊藤 彰海	一滴の研究	奨励賞
2	柏崎小学校	3	箕浦 優仁	みゃくはくのじっけん	奨励賞
3	剣野小学校	3	前澤 絢音	紙飛行機実験	奨励賞
4	新道小学校	4	宮田 果歩	台所で7色の色水をつくってみよう	奨励賞
5	鯖石小学校	4	澤石 庸之介	かぶと虫 たまごから成虫までの記録	優秀賞
6	荒浜小学校	3	遠山 彩加	ポイの研究	優秀賞
7	大洲小学校	4	近藤 諒平	ダンゴムシの生態	優秀賞
8	新道小学校	4	罇 匠海	水研究～きれいな水はどんな水～	奨励賞

小学校高学年Aの部

No.	学校名	年	氏名	題目	審査結果
1	剣野小学校	5	海津 滯音	バナナも日焼けをするの？	奨励賞
2	比角小学校	6	本間 啓	色のにじみについて	優秀賞
3	榎原小学校	6	小泉 花音	花の観察実験	奨励賞
4	鯨波小学校	5	池田 和	谷根川について	奨励賞
5	鯖石小学校	5	毛見 陽	一番とけにくい氷はどれか	優秀賞
6	半田小学校	5	堀井 佑亮	水道水の塩素についてパート2 塩素をなくす実験	優秀賞
7	榎原小学校	5	小林 未来	身近な液体 凍らせ 大実験	奨励賞
8	剣野小学校	6	田村 柚子	ヤモリはどこでもはり付くの！？	優秀賞

小学校高学年Bの部

No.	学校名	年	氏 名	題 目	審査結果
1	新道小学校	5	宮田 はづき	氷のとけ方比べ	奨励賞
2	鯖石小学校	6	平野 健太	かさぶくろを遠くに飛ばそう	優秀賞
3	田尻小学校	5	川尻 唯生	酸素を作るには	奨励賞
4	荒浜小学校	5	小林 咲月	ペットボトルの水を冷たいまま飲む方法	優秀賞
5	槇原小学校	6	小玉 彩音	10円玉 ピカピカ実験	奨励賞
6	剣野小学校	6	小竹 優季	柏崎の地層	奨励賞
7	鯖石小学校	5	奥寺 啓斗	どの紙が一番よく飛ぶか	奨励賞
8	比角小学校	6	笹川 涼介	液化化現象を再現しよう	優秀賞

小学校高学年Cの部

No.	学校名	年	氏 名	題 目	審査結果
1	荒浜小学校	5	遠山 暖大	茶柱はなぜ立つか?	奨励賞
2	刈羽小学校	6	亀井 咲良	インクの色分け実験 (ペーパークロマトグラフ法)	奨励賞
3	高柳小学校	6	村田 到生	水の蒸発量の違いについて	優秀賞
4	比角小学校	6	片桐 美遥	紫外線を調べる	奨励賞
5	新道小学校	5	南波 実優	ガリレオ温度計って?	優秀賞
6	柏崎小学校	5	武石 悠太	シャボン玉の研究2	優秀賞
7	荒浜小学校	6	久住 ふうり	お湯を長持ちさせるには	奨励賞

中学校の部

No.	学校名	年	氏 名	題 目	審査結果
1	東中学校	3 2	大倉 陸 波照間 亮太	光の屈折の研究	奨励賞
2	柏崎翔洋中等 教育学校	1	小林 愛梨	水で紙を燃やす研究	優秀賞
3	東中学校	2 2	春川 柚希 佐藤 渉	身近な昆虫調べ (クモなども含める)	優秀賞
4	第三中学校	1	小林 悠	蒟蒻の謎2014～花の出現と芋のゆくえ～	優秀賞
5	東中学校	3 2	須田 智哉 元矢 隆太	ガウス加速器	奨励賞

空気のでどこまで飛ぶか！ペットボトルロケット

◇9月30日(火) ～剣野小学校 科学クラブ要請～

市販のキットを使わず、ペットボトル2本と厚紙だけで作りました。最初は1mくらいしか飛ばなかったものもありましたが、ボトルに入れる水の量を変えたり、飛ばす角度を変えたりと試行錯誤するうちに、どんどんと飛距離が伸びました。発射の瞬間に吹き出す水でズボンにぬらしながらも、どの子も満足そうでした。



試行錯誤を繰り返し、飛ぶペットボトルロケットをつくる剣野小科学クラブ

【11・12月の研修会のご案内】

研修の申し込みは今からでも可能です！

○青少年のための科学の祭典（秋）

- ◇日 時 11月15日（土）9：50～15：30
- ◇会 場 新潟工科大学
- ◇内 容 恒例の朝と昼との実験ショーがあります。数多くのブースが出店予定です。中には古生物学者になりきって化石を見たり、エンジニアになったつもりでLEDライトを作ってみたりするブースもあります。高学年向きの内容が楽しめるチャレンジ実験室もあります。児童生徒の科学の芽を育てるための地域イベントです。

○県中学校教育研究会 理科授業公開 鏡が沖中学校

- ◇日 時 11月21日（金）15：00～16：45
- ◇会 場 柏崎市立鏡が沖中学校
- ◇内 容 テーマは「学び合う活動を通して科学的な見方・考え方を高め、科学的事象を分かりやすく表現できる生徒の育成」です。

○小3 「じしゃくのひみつ」

- ◇日 時 12月2日（火）15：00～16：45
- ◇内 容 磁石につくものを探す実験、磁石の性質を調べる実験など学習意欲を高めながら行う授業の進め方について実習を通して研修します。磁石を使ったおもちゃ作りも紹介します。この単元でよくある児童の素朴概念について理解することで、おさえておくべきポイントが分かります。

○小4 「人の体のつくりと運動」

- ◇日 時 12月10日（水）15：00～16：45
- ◇内 容 生物の構造と機能とのかかわりについて考えさせることをねらいとしています。骨や筋肉などの運動器官のつくりと働きについて、映像や模型を活用して人の体について理解を深めさせる手だてを紹介します。骨と筋肉の動きの実験器の製作や、手羽先などを使った解剖実習などを行います。

野外観察実習は計画的に！

「地層観察」「流れる川のはたらきの現地観察」など本物を見て学ぶことが一番の単元があります。ぜひ、気候のいい時期に計画し、現地での学習を実施してください。その際の観察ポイントや活動例、資料など提供などできますので、希望の学校は連絡をください。



地層学習「米山海岸」聖が鼻凝灰岩を触り、手触りを実感



河原で石がどうして丸くなるのかを確かめる実験中

心の窓

No.182

〒945-1355

柏崎市大字軽井川4803-2

TEL 0257(23)4591 (代表)

FAX 0257(23)4610

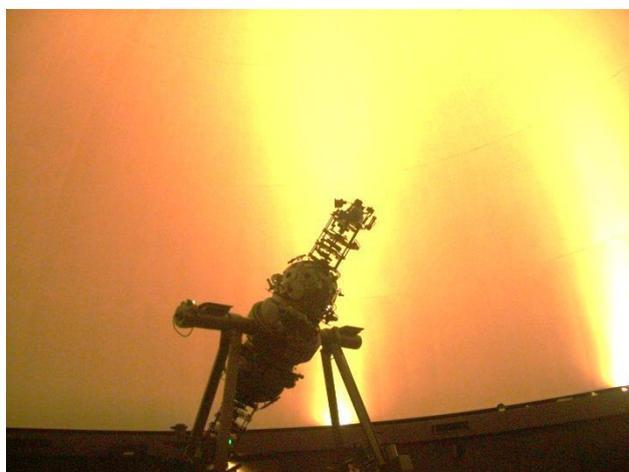
E-mail soudan@kenet.ed.jp

☆☆☆ふれあいルームより☆☆☆

《プラネタリウム鑑賞会》

9月18日(木)、ふれあいルームのみんなが柏崎市立博物館へプラネタリウムの鑑賞へ出かけました。博物館では、学芸員の佐藤俊男さんが案内をしてくださいました。プラネタリウムの部屋に入ると独特の丸い天井と映画館のようなイスがあり、みんなワクワクしながら座る場所を選びました。

はじめに当日の夜空が映し出され、星座や星の名前について佐藤さんが丁寧に解説してくださいました。通級生も指導員も普段はあまりじっくりと見上げることのない夜空にそれぞれ名前をついた星や星座があることをあらためて知り感動しました。その後、プログラムの「MUSICA」(ムジカ)というプラネタリウムの番組を見せていただきました。音楽の音階も植物の成長も宇宙しくみにも共通する法則があること教えてくれる興味深い内容でした。通級生にとっては少し難しい内容だったかも知れませんが、丸い天井に映し出される映像は立体感があり、自分も回転しているような感覚にも襲われて、それだけでも十分に楽しめたようでした。悩みの多い通級生たちはどうしても内向的になって下ばかり見てしまいがちですが、時には星空を見上げて広い視野を持ち、心を解き放ってほしいと願っています。



(ふれあいルーム指導員 寺澤 朋法)



《カウンセリングルーム》

いろいろ体験グループ (SST)

- 7日(金) 16:30~17:30 小学生Aグループ
- 14日(金) 16:30~17:30 小学生Bグループ
- 21日(金) 16:30~17:30 小学生Cグループ
- 27日(木) 18:30~20:00 中学生第1グループ
- 28日(金) 18:30~20:00 中学生第2グループ

教育相談班 11月の予定

《ふれあいルーム》

- 5日(水) ソフィアセンター
- 7日(金) 陶芸教室 ②
- 14日(金) 陶芸教室 ③

育成センター通信

0849

柏崎市青少年育成センター

〒945-1355 柏崎市大字軽井川 4803 番地 2

TEL0257-20-7601 FAX0257-23-4610

ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

第34回 中高生と大人の座談会 中高生の夏休みワークショップ テーマ「自分を守る」

8月10日（土）、第34回中高生と大人の座談会を実施しました。今年の内容を見直そうということで青少年育成委員のメンバーで実行委員会を立ち上げ、3月から協議を重ねてきました。その結果、今年度は中高生によるワークショップ形式で実施しました。

当日は柏崎管内の7つの高校ごとのグループを結成し、高校生が進行役となって話し合いを進めました。各グループごとにまず「何から自分を守るか」話し合いのテーマを決めていきました。最初のうちは緊張していてなかなか発言できなかったようですが、ポストイットを使い自分の考えをまとめてから発表というスタイルにも次第に慣れ、活発な意見交換がなされました。＜高校生のリードで話し合い＞

- Aグループ・・・「犯罪（いじめ・人権問題）から自分を守る」
- Bグループ・・・「災害や孤立から自分を守る」
- Cグループ・・・「いじめから自分を守る」
- Dグループ・・・「災害から自分を守る」
- Eグループ・・・「災害から身を守るために」
- Fグループ・・・「SNSをはじめとするいじめから自分を守る」
- Gグループ・・・「いじめから自分を守る」



高校生と中学生が同じテーブルにつき、高校生の進行で話し合うスタイルは初めての試みです。

「自分の意見を述べる」ことや「仲間の考えを聴く」ことは、「考える力」をつけ、意見交流を通して「仲間と共に困難に立ち向かう力」を育てるものと考えます。初対面で、しかも異年齢集団で話し合うことは容易ではありませんが、「互いのことを思いやりながら自分の考えを述べ、人の意見に耳を傾け、自分の生き方を考える」、それこそ究極の「自分を守る力」の育成につながるものと思っています。

話し合いの様子を周りで見守っていた大人たちは、「中高生が真面目に話し合い、堂々と発表する姿を見て、大人もしっかりしなければと感じた」「初めて中高生の意見を聞いた。国の行く末を心配していたが、安心した」など、中高生の考え方や態度を見て元気づけられたようです。

＜話し合いの成果発表＞



最後の全体会で、協力して発表する姿は、これからの柏崎市や日本の未来を背負っていく若者に成長していく頼もしさを感じました。

アンケートの回答から、初めての試みに肯定的な意見を多くいただきましたが、改善点もご指摘いただきました。寄せられたご意見を参考にして今後も意義ある会になるよう運営に努めてまいります。ご協力いただきました多くの皆様に感謝申し上げます。

平成26年度 青少年を取り巻く社会環境実態調査結果より

柏崎市の「社会環境の実態調査」がまとまりましたので、お知らせします。

調査の概要

青少年を取り巻く社会環境の実態を把握し、今後の青少年の非行防止活動に資するために、7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」の取組の一環として実施しました。

調査方法

青少年育成委員が巡回調査を実施しました。

実 態

※一印は、今年度は実施しない。

調査項目	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	前年比
酒類自動販売機台数	18	13	13	9	9	—	5	-4
タバコ自動販売機台数	189	175	172	159	152	—	103	-49
酒類販売のコンビニ店数	28	31	31	36	36	35	34	-1
タバコ販売のコンビニ店数	31	35	35	36	36	35	34	-1
有害ビデオ自動販売機台数	16	11	11	15	14	14	14	0
一部有害図書販売書店数	—	10	10	8	7	7	7	0
一部有害図書販売コンビニ店数	30	34	34	34	35	33	33	0
ゲーム場数	8	9	8	6	6	5	—	-
エアソフトガン取扱店数	6	4	4	4	4	4	—	-
大人のおもちゃ販売店数	—	1	1	1	1	1	—	-
成人向ビデオ販売書店数	—	6	6	5	4	5	—	-
成人向ビデオ貸出店数	8	5	5	5	5	5	—	-
カラオケボックス店数	4	4	4	4	4	—	3	-1
マンガ喫茶・インターネットカフェ	2	1	1	1	1	—	1	0

隔年でタバコや酒類の自販機の実態調査を行いました。高齡化による閉店と同時に自販機の設置や販売をやめた店舗がありました。また、コンビニの台頭も、これらの台数を減らす要因になっているようです。しかし、街頭育成活動の状況や柏崎警察署生活安全課の話などによると、高校生の喫煙の事実もまだまだ見られることから、青少年にタバコの販売がされないように警戒をする必要があります。

柏崎の青少年の問題行動は少ないと言われますが、万引き行為の低年齢化も気になるところです。大きな事件・事故につながらないよう多くの目で見守っていきましょう。

11月の行事予定表		
日	曜	研修・行事・会議
1	土	
2	日	
3	月	文化の日
4	火	育:下校育成
5	水	ふ:ソフィアセンター
6	木	
7	金	ふ:陶芸教室②柏崎駅集合・解散(8:49~15:12) 相:いろいろ体験グループ小A16:30-
8	土	育:子ども・若者育成支援強調月間啓発
9	日	
10	月	相:班会議
11	火	研:防災教育講演会14:30- 科:第53回上越地区理科教職員研究発表会(妙高市理科教育センター)
12	水	研:図書館教育講座(ソフィア)①13:20-②15:10- 研:食物アレルギーとエピペン使用について15:30-
13	木	研:枇杷島小学校研究発表(特別活動) 研:技術教材研究レゴ マインドストーム(工科大)14:00-
14	金	研:鯖石小学校研究発表(教育課程)13:15- ふ:陶芸教室③柏崎駅集合・解散(8:49~11:35) 相:いろいろ体験グループ小B16:30- 育:夜間育成
15	土	科:科学の祭典2014柏崎刈羽大会(9:50-15:30:新潟工科大学)
16	日	
17	月	育:昼間育成
18	火	研:授業づくりゼミ②
19	水	研:幼稚園保育園職員講座
20	木	
21	金	科:県中学校教育研究会理科研究発表会(鏡が沖中) 相:いろいろ体験グループ小C16:30-
22	土	
23	日	勤労感謝の日
24	月	振替休日
25	火	
26	水	研:法律から見る学校教育上の諸問題 研:同和教育現地研修
27	木	研:中学校英語デジタル教科書活用講座(一中) 研:指導補助員介助員研修16:00- 相:いろいろ体験グループ中①18:30-
28	金	研:同和教育講演会「近現代の差別」 研:授業づくりの基礎基本 授業スタンダード10(三中) 相:いろいろ体験グループ中②18:30-
29	土	
30	日	
研:教育研究班 科:科学技術教育 相:教育相談班		
ふ:ふれあいルーム 情:情報教育研修 育:育成センター		



所 員 随 想

月が食べられるなんてそれは違う

副所長 山田 智

10月8日、児童生徒科学研究発表会の余韻が残るその日の夕方、皆既月食を見ました。

月食というからには、月が食べられるわけですが、実際、月が欠け始めてから、すべて消え、また元の月に戻る、約2時間。ずーっと見ていると、とても月が欠けるという現象には思えません。夜空に大きく投影された地球の影の中に、月が自ら入り込み、また出ていく、そんな月自身の動きを感じる現象だったのです。

この現象は「月の地球影通過」と表現した方がよいように思えてきました。その方が、実際の天体の動きを表すのにも、ふさわしいような気がします。

一つの現象を、始めから終わりまでずっと見て見たいことで、こんなことを思い浮かべました。

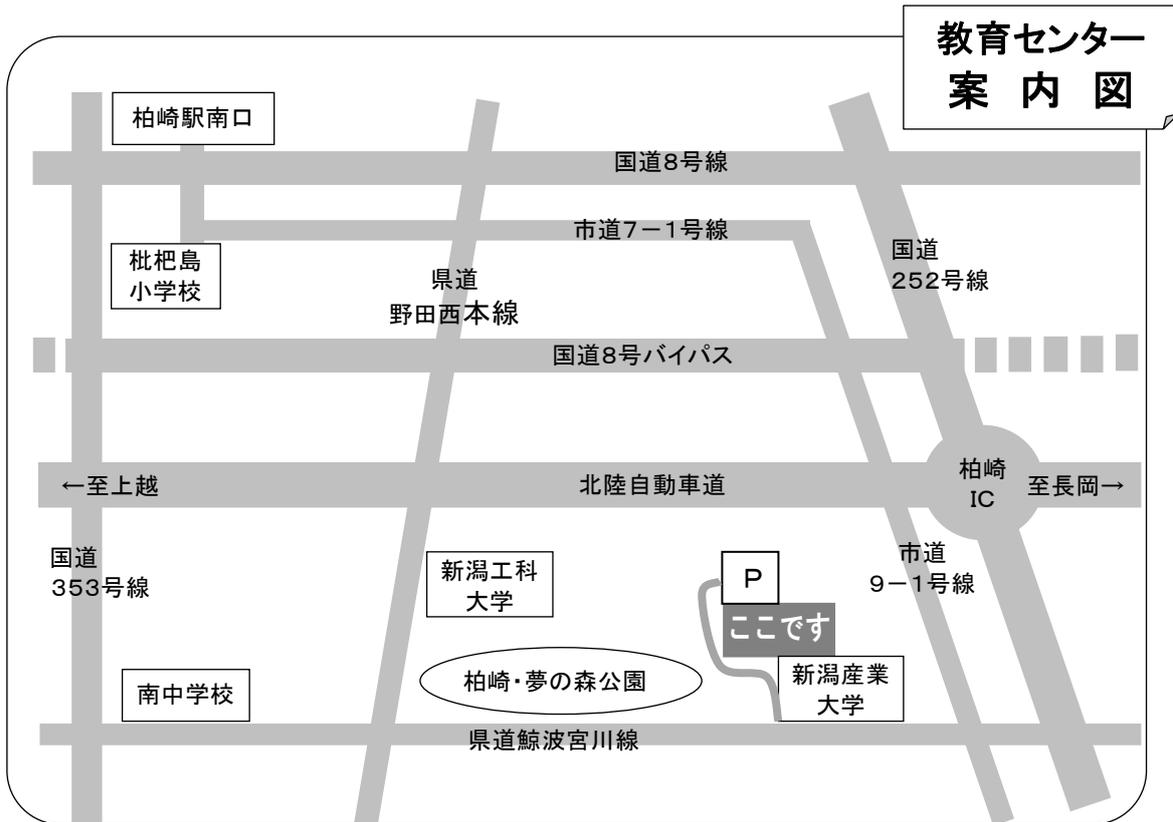
この間、約2時間……。私は、よっぽど暇な人間です。

教育センター 上半期の参加・利用状況(4月～9月)

研修講座・事業名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		H26上半期 利用合計数		H25上半期 利用合計数		対前年度比		
	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	%	%	
教育 研究 班	研修講座(情報・科学を除く) *	0	0	11	270	14	433	12	248	12	280	10	179	59	1,410	56	1,320	105.4	106.8
	うち他団体との共催講座	0	0	0	0	4	121	3	60	3	53	4	110	14	344	13	342	107.7	100.6
	上記以外で開催した研修会等	1	30	1	40	2	160	1	40	2	70	2	80	9	420	9	485	100.0	86.6
	その他相談 (TEL,メール等)		117		110		105		63		84		121		600		672		89.3
	教育情報化研修講座 *	5	39	9	47	4	15	14	76	7	90	3	5	42	272	40	267	105.0	101.9
	情報教育主事の要請支援等	10	118	11	21	11	334	11	450	8	13	13	456	64	1,392	65	842	98.5	165.3
	教科書センター利用閲覧数(人)		1		2		249		140		9		1		402		97		414.4
科学 技術 教育	理科研修講座 *	2	83	4	89	4	54	4	88	5	79	2	10	21	403	16	209	131.3	192.8
	学校等の要請研修 (すべての参加者を含む)	0	0	0	0	3	125	15	823	3	281	4	240	25	1,469	18	1,026	138.9	143.2
	科学教育振興事業 (科学の祭典・科学教室等)(人)		0		0		2,100		0		745		2,471		5,316		5,451		97.5
	理科教育の相談・支援(件)		18		21		40		32		53		48		212		187		113.4
	理科教材・物品の貸出(件)		11		5		18		8		4		13		59		51		115.7
教育センター研修講座 (*印の合計)	7	122	24	406	22	502	30	412	24	449	15	194	122	2,085	112	1,796	108.9	116.1	
教育 相談 班	カウンセリングルーム 来室相談	新規相談 (件)	39	16		14		17		13		13		112		150		74.7	
		のべ相談 (件)	46	44		47		68		67		68		340		344		98.8	
	学校訪問相談(回)	4	14		14		11		1		9		53		50		106.0		
	電話相談(件)	1	1		1		1		2		1		7		7		100.0		
	ソーシャルスキルトレーニング	0	0	5	31	5	32	5	29	5	26	0	0	20	118	20	116	100.0	101.7
	ふれあいルーム 在籍人数	小学生 (人)		0		0		0		0		0		0		12		0.0	
		中学生 (人)		6		7		9		9		9		9		49		47	104.3
	ふれあいルーム通級日数(日)	17	20		21		16		2		20		96		95		101.1		
	ふれあいルーム 通級のべ人数	小学生 (人)		0		0		0		0		0		0		73		0.0	
		中学生 (人)		44		74		103		71		8		68		368		382	96.3
ふれあいルーム学校復帰人数 (部分復帰を含む)		6		7		8		8		8		8		45		45		100.0	
教育団体、PTA、市民等の利用(人)		22		56		100		60		64		107		409		429		95.3	
教育センター事業の 参加・利用総数		573		841		3,944		2,225		1,889		3,890		13,362		12,158		109.9	

※斜体の数字は、参加・利用総数には含まない。

教育センター 案内図



〒945-1355 柏崎市大字軽井川4803番地2（新潟産業大学キャンパス内）

※路線バスは、柏崎駅南口から新潟産業大学行きをご利用ください。

※車でお越しの方は、キャンパス内では徐行をお願いします。

イタリアの天文学者ガリレオ・カリレイのたゆまぬ創造と検証の精神にちなみ、教育センター所報を「GALILEI」と名づけています。

インターネット版は、「柏崎市教育情報支援システム」を検索し、トップ画面右上の所報「GALILEI」をクリックすると閲覧できます。

教育センター代表TEL：0257-23-4591

代表FAX：0257-23-4610

E-mail：k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育研究班・情報教育TEL：0257-23-1168

E-mail：kec@kenet.ed.jp

教育研究班（科学技術教育）TEL：0257-20-0212

E-mail：kagaku@kenet.ed.jp

教育相談班（カウンセリングルーム）TEL：0257-32-3397

E-mail：soudan@kenet.ed.jp

教育相談班（電話相談）TEL：0257-22-4115

青少年育成センターTEL：0257-20-7601

E-mail：ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育情報支援システム URL：http://kedu.kenet.ed.jp

平成26年10月発

=====